



TOP Interview
**社長に聞く
今期の業績と
今後の計画**
P1~3

IoT社会の根幹を支える
ICT分野に注力して、
新製品開発やグローバル展開を
より迅速に進めます。



第47期

株主通信

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで



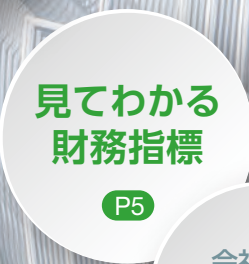
界面創造

Creating Surface Possibilities

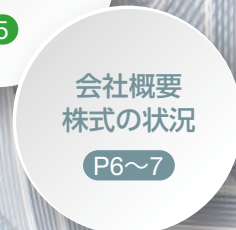


**MEC
Business
News**
P4

メックの“今”をわかりやすく
お伝えします



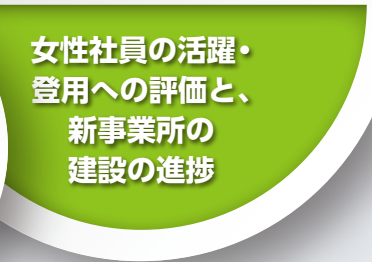
**見てわかる
財務指標**
P5



**会社概要
株式の状況**
P6~7



Our Products
超簡単!
製品紹介 P4



**女性社員の活躍・
登用への評価と、
新事業所の
建設の進捗**





代表取締役社長
前田 和夫

IoT社会の根幹を支えるICT分野に注力して、 新製品開発やグローバル展開をより迅速に進めます。

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜りまして厚く御礼申し上げます。
ここに当社第47期の事業のご報告をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

🔍 当期のポイント

- IoT関連市場向けは堅調に伸長。
パソコン・タブレットPC向け低迷。
- 中国と韓国、東南アジアは堅調。
日本と台湾は伸び悩み。
- ICT分野でコア技術を水平展開。
さらなる事業拡大を推進。

Q 当期の事業環境・業績と
来期の予想について教えてください。

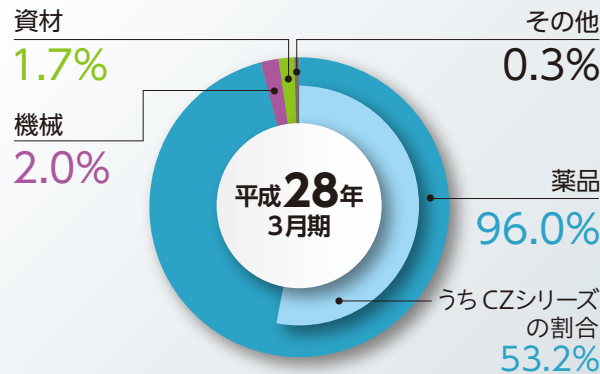
A IoT関連市場が急速に成長。
デバイス類やビッグデータ集約の
需要が堅調に推移。

当期のエレクトロニクス業界は、パソコンやタブレットPCの需要が低迷し、一部のスマートフォンが年度後半から在庫調整が始まりました。一方、IoT関連市場は急成長を続けており、デバイス類やビッグデータのデータ集約・分析用サーバーの需要は堅調に推移。電子基板業界も同様の傾向にありました。

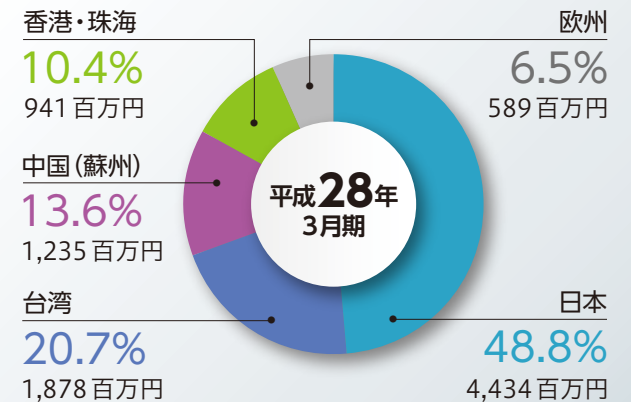
当期の実績

	平成27年 3月期	平成28年 3月期	増減
売上高 (百万円)	9,057	9,078	0.2%増
営業利益 (百万円)	2,008	2,185	8.8%増
経常利益 (百万円)	2,129	2,207	3.7%増
親会社株主に 帰属する当期 純利益 (百万円)	1,344	1,514	12.7%増
1株当たり 当期純利益 (円)	66.98	76.26	—

売上高に占める品目別割合 (%)



地域セグメント別売上高比率 (%) / 売上高(百万円)



このような環境のもと、当社グループは銅と樹脂との密着強度を飛躍的に向上させる銅表面超粗化剤「CZシリーズ」やエッチング法で高密度配線パターンを実現する「EXEシリーズ」の売上が順調に推移いたしました。銅表面を粗化せずに密着性向上を可能にする「フラットボンド」は、高速伝送対応の電子基板製造用に採用されました。一方、タッチパネル向け薬品の売上は、タブレットPCの販売低迷に伴い低調でした。

金属と樹脂とを直接接合する技術である「アマルファ」は、一部の携帯端末用筐体の製造工程で新規採用されており、引き続き産業用ロボットや自動車等への採用を目指しております。

その結果、当期の売上高は90億78百万円(前年同期比0.2%増)^{※1}、営業利益21億85百万円(同、8.8%増)^{※1}、経常利益22億7百万円(同、3.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は15億14百万円(同、12.7%増)となりました。

来期は売上高89億円(同、2%減)、営業利益は20億円(同、8.5%減)、経常利益は20億50百万円(同、7.2%減)、親会社

株主に帰属する当期純利益は14億50百万円(同、4.3%減)を予想しています。これは世界経済の減速傾向の他、為替が急激に円高に振れたこと^{※2}と、尼崎事業所関連の費用を織り込んだことが影響しています。

^{※1} 為替の影響は、売上が3億45百万円増収、営業利益は56百万円増益。

^{※2} 業績予想の前提為替レート(ドル) 当期実績:120.97円 来期計画:105円

Q 製品別の販売動向は怎么样了か？

A CZ・EXEの拡販が進み、フレキ基板向け薬品も順調でした。

当社グループの品目別売上構成のうち、「薬品」の売上高は、87億18百万円(前年同期比2.7%増)となり、売上高全体に占める割合は96.0%(同、2.3ポイント増)となりました。このうち銅表面超粗化剤CZシリーズの売上は46億41百万円

(同、3.8%増)で、薬品売上高に占める割合は53.2%(同、0.5ポイント増)となりました。

車載用基板向けやサーバー・データセンターのパッケージ基板向けの密着向上剤としてCZシリーズが好調でした。モバイル端末のカメラや自動車、ロボットなど各種用途向けにも需要が高まっています。

また、フレキシブル基板向けの銅表面処理剤「CA・CBシリーズ」の売上は順調に推移いたしました。

EXEシリーズは、細線化が進むスマートフォンのマザーボード向けで採用が進みました。

Q 地域別の業績と対応状況は怎么样了か？

A 中国と韓国、東南アジアは堅調。日本と台湾は低調でした。

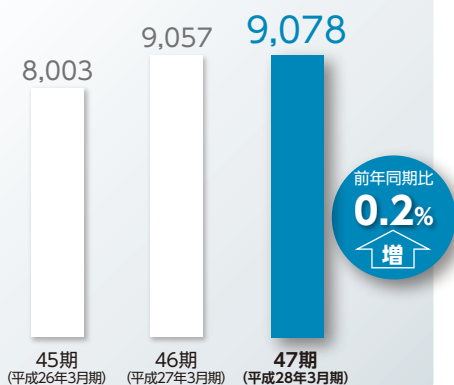
地域セグメント別の売上高は、国内では、スマートフォンやサーバーのパッケージ基板向けが比較的好調でした。また、日本から韓国や東南アジア向けへの販売もディスプレイやスマートフォン向け薬品売上が増加しました。一方、利益率の

用語集

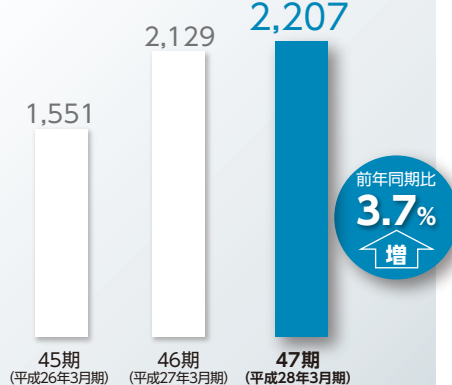
IoT	モノのインターネット(Internet of Things)。従来は主に情報機器が接続されていたインターネットにそれ以外の様々な"モノ"を接続すること。
COF	Chip On Film。フィルム状の配線回路基板の上に半導体チップを実装する技術。

ICT	情報通信技術(Information and Communication Technology)。コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称。
エッチング	金属表面を化学薬品等で溶解させる表面加工技法です。

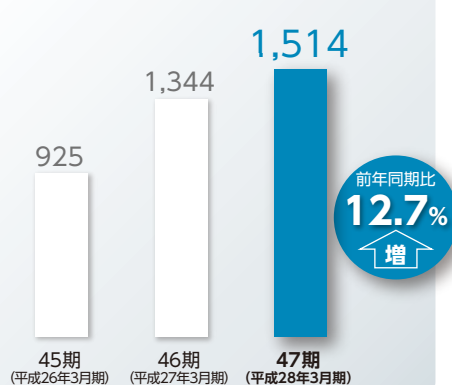
売上高(百万円)



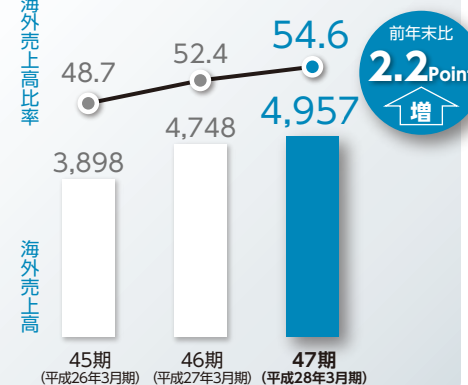
経常利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



海外売上高(百万円)/比率(%)



低い銅箔等の取扱品販売が減少いたしました。その結果、売上高は44億34百万円(前年同期比6.0%減)、セグメント利益は14億51百万円(同、15.3%増)となりました。

台湾は、パッケージ基板用、液晶テレビ等のディスプレイ用の薬品が低調でしたが、スマートフォンや車載基板用薬品が堅調でした。その結果、売上高は18億78百万円(同、0.6%増)、セグメント利益は2億25百万円(同、8.0%減)となりました。

香港・珠海は、パッケージ基板製造用が好調に推移し、薬品の売上が増加しました。その結果、売上高は9億41百万円(同、17.4%増)、セグメント利益は2億5百万円(同、10.3%増)となりました。

中国(蘇州)では、パッケージ基板用薬品は横ばいであったものの、スマートフォン用薬品の売上が増加しました。その結果、売上高は12億35百万円(同、22.6%増)、セグメント利益は3億16百万円(同、38.4%増)となりました。

欧州は、車載用基板向けの薬品売上は堅調に推移しましたが、電子基板用の検査機械装置の販売が低調でした。その結果、売上高は5億89百万円(同、11.4%減)、セグメント利益は33百万円(同、54.7%減)となりました。

また、地域別売上高(連結)における海外売上高比率は、54.6%(同、2.2ポイント増)となりました。

Q 今後の事業展開について教えてください。

A ICT分野に注力し、製品開発やグローバル展開をスピードアップします。

IoT時代の到来により、あらゆるモノがインターネットに繋がり、デバイス類の数が増大することが予想されています。その根幹を支えるICTの領域で、当社の微細配線形成、密着性向上、選択エッチング等のコア技術が貢献するチャンスが広がっています。

EXEシリーズは、スマートフォンのマザーボードの領域で採用され、今後は車の自動運転の市場での拡販を目指しています。CZシリーズやフラットボンドは、モバイル・ウェアラブル端末に搭載される超小型半導体パッケージでも引き合いが増えつつあります。このほか産業用・人型などの各種ロボット、3Dタッチセンサや有機EL、医療関係のウェアラブル端末など、

事業拡大の可能性が広がっており、当社としては、新たな需要や欲求に応じて製品開発やグローバル展開をさらに迅速に進めることが最優先課題です。

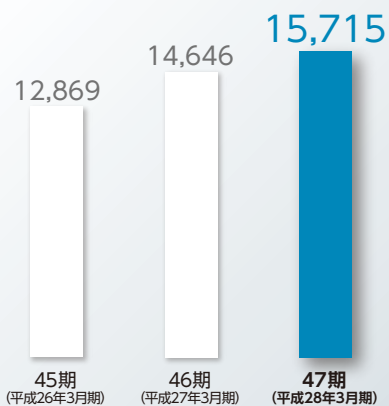
Q 資本政策・資本効率について教えてください。

A 株主還元を努めてまいります。

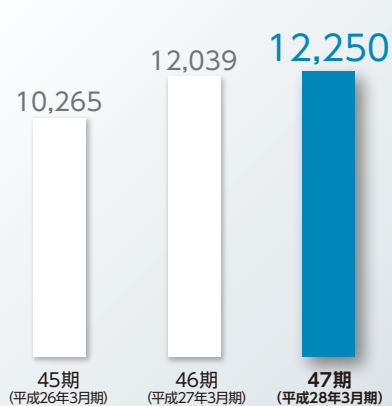
配当金は、従来どおり安定配当の考えを維持しつつ、期間利益の反映を図る所存です。当期配当は、1株当たり期末配当金10円、実施済みの中間配当金8円と合わせて年間18円とさせていただきます。また、株主利益の向上を図るため、平成27年11月および平成28年3月に自己株式をそれぞれ50万株、20万株取得いたしました。連結ROEは、10%をベースに積極的改善を図るよう努めてまいります。

次期における配当は、1株当たり年間配当金20円、中間配当金10円、期末配当金10円を予定しています。

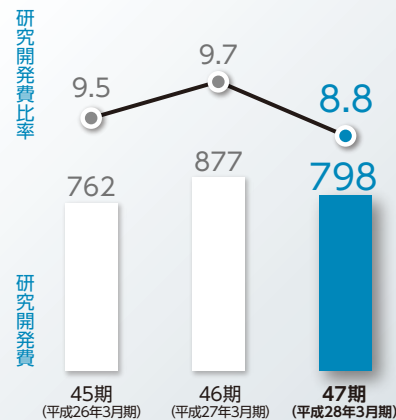
総資産額(百万円)



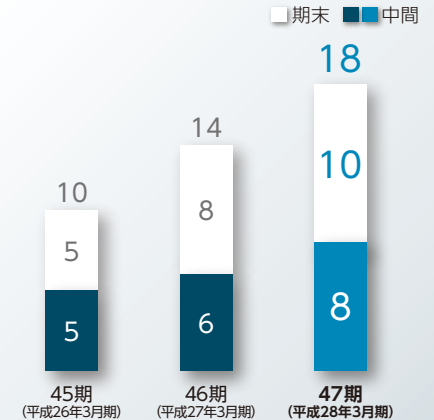
純資産額(百万円)



研究開発費(百万円)/比率(%)



1株当たりの配当金(円)



女性の活躍・登用に対する評価

当社は当年度中に、内閣府が行う「女性が輝く先進企業表彰」において「内閣府特命担当大臣賞」、兵庫県と地元の経済・労働団体等で構成する「ひょうご女性の活躍推進会議」より「第1回ひょうご女性の活躍企業表彰」企業に選ばれました。また、昨年に引き続き経済産業省が東京証券取引所と共同で女性活躍推進に優れた企業を選定する、平成27年度「なでしこ銘柄」にも選定されました。

これらは当社が、多様性を尊重し、従業員の出産・育児・介護に関しても、休暇制度や給付制度を設け、女性が安心して働ける環境の整備を進めてきたことなどが評価されたものです。今後も多彩な能力を存分に発揮できるような環境整備を進め、ダイバーシティ[※]の推進に取り組んでまいります。



※ 性別や人種、年齢、性格、価値観等の違いを尊重し、多様な人材を積極的に活用しようという考え方。

「尼崎事業所」の建設工事、順調に進む

昨年10月に着工した「尼崎事業所」の建設工事(所在: 尼崎市杭瀬南新町/敷地面積: 約1万4,200m²)は今年10月の完成、来年4月からの稼働をめざし、順調に進められています。新事業所に研究、生産、営業、管理本部等の各部門を集約することにより、部門間のコミュニケーションを高めてより効率的な事業展開を進めてまいります。研究開発部門においては、さらなる分析機器の充実を図り、開発の迅速化を目指します。加速度的に進歩する技術をキャッチアップし、新市場開拓を推進する体制の強化に取り組んでまいります。



建設中の尼崎事業所

Our Products

超簡単!
製品紹介



メックの主力製品「EXE (エグゼ) シリーズ」って何?

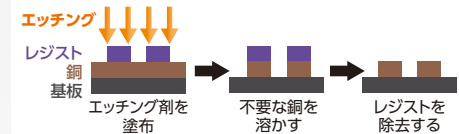
電子基板上に配線パターンを形成する方法は大きく分けて「サブトラクティブ工法(サブトラ)」と「セミアディティブ工法(SAP)」があります。

サブトラ	絶縁樹脂上に張り付けた銅箔から不要な部分をエッチング液で除去し、配線パターンを形成する工法
利点	技術的難度が低い コスト低
欠点	高密度配線には不向き
SAP	絶縁樹脂上に必要な部分を銅めっきし、配線パターンを形成する工法
利点	高密度化が可能
欠点	技術的難度が高い コスト高

EXEシリーズはサブトラでも高密度配線が実現できます。現状のエッチング液に添加して使用できるため、設備投資額も抑えられます。

今後スマートフォンやタブレットPC等の携帯端末の電子部品はますます小型化が進み、部品を搭載する電子基板も高密度化に向かいます。SAPの工法が必要となる可能性もありますが、EXEシリーズを使用すればサブトラでも高密度化に対応が可能で、スマートフォンで実績もできました。当領域への展開を推し進め採用の拡大を図ります。

サブトラクティブ工法によるパターン形成



EXEを使用するとパターンの断面が問題の無い形状を形成できるため、高密度配線化が可能。

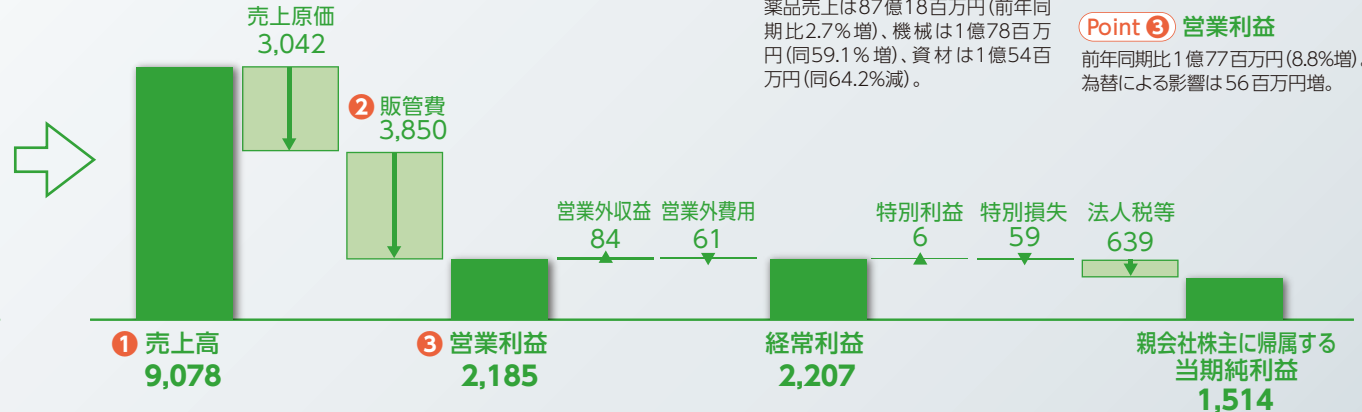


連結損益計算書の概要 (百万円)

前期 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)



当期 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)



Point ① 売上高

前年同期比20百万円(0.2%増)。為替による影響は3億45百万円増。薬品売上は87億18百万円(前年同期比2.7%増)、機械は1億78百万円(同59.1%増)、資材は1億54百万円(同64.2%減)。

Point ② 販管費

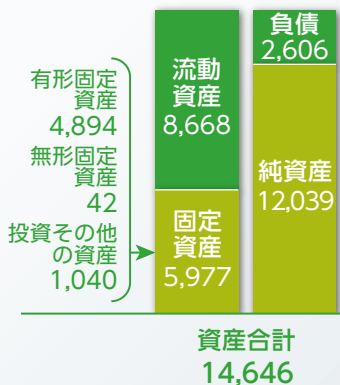
前年同期比63百万円(1.7%増)。為替による影響は86百万円増。

Point ③ 営業利益

前年同期比1億77百万円(8.8%増)。為替による影響は56百万円増。

連結貸借対照表の概要 (百万円)

前期末
(平成27年3月31日)



当期末
(平成28年3月31日)



Point ④ 負債

負債は、尼崎事業所建設関係の設備関係未払金の増加等により、前期末に比べ8億58百万円増加し、34億65百万円となりました。

Point ⑤ 純資産

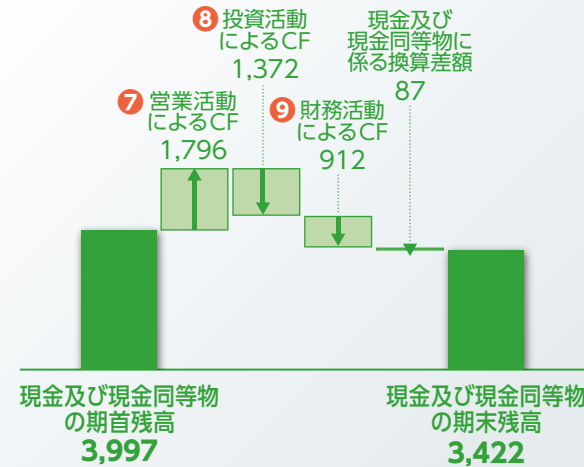
純資産は、当期純利益の増加による利益剰余金の増加、自己株式の取得による減少等により、前期末に比べ2億10百万円増加し122億50百万円となりました。

Point ⑥ 資産合計

資産は、自己株式の取得や尼崎事業所建設代金の支払いによる現金及び預金の減少、尼崎事業所関係、基幹システム構築等固定資産が増加したこと等により、前期末に比べ10億69百万円増加し、157億15百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)

当期 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)



Point ⑦ 営業活動によるCF

得られた資金は17億96百万円(前年同期比3億7百万円増)。これは主に税金等調整前当期純利益が21億54百万円、法人税等の支払額が6億77百万円計上されたこと等によるもの。

Point ⑧ 投資活動によるCF

使用した資金は13億72百万円(同9億73百万円増)。これは主に有形固定資産の取得による支出が12億21百万円、無形固定資産の取得による支出が1億2百万円計上されたこと等によるもの。

Point ⑨ 財務活動によるCF

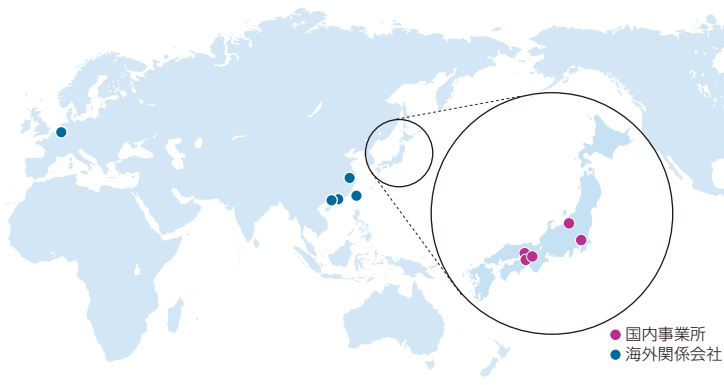
使用した資金は9億12百万円(同6億91百万円増)。これは自己株式の取得による支出が5億91百万円、配当金の支払いが3億20百万円計上されたこと等によるもの。

会社概要

商号 メック株式会社
 本社事務所所在地 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地
 アマックスビル
 設立年月日 1969年(昭和44年)5月1日
 資本金 594,142,400円
 事業内容 電子基板・部品製造用薬品の製造販売
 および機械装置、各種資材の販売

取締役および執行役員 (平成28年6月21日現在)

代表取締役社長 前田 和夫
 取締役専務執行役員 長井 眞
 取締役常務執行役員 中川 登志子
 取締役(社外) 西山 豊
 取締役 監査等委員(社外) 前田 勝廣
 取締役 監査等委員(社外) 佐竹 隆幸
 取締役 監査等委員(社外) 田中 明子
 常務執行役員 北村 伸二
 執行役員 木田 哲郎
 執行役員 中村 幸子
 執行役員 武村 文夫



国内事業所

本社
 〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル
 TEL. 06-6414-3451(代) FAX. 06-6414-3455

東京営業所
 〒190-0003 東京都立川市栄町六丁目1番1号 立飛ビル7号館7階
 TEL. 042-538-1080(代) FAX. 042-538-1090

長岡工場
 〒940-2045 新潟県長岡市西陵町221番地36
 TEL. 0258-47-2490(代) FAX. 0258-47-2493

西宮工場
 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目1番19号
 TEL. 0798-46-8588(代) FAX. 0798-46-8688

研究所
 〒660-0832 兵庫県尼崎市東初島町1番地
 TEL. 06-6401-8170(代) FAX. 06-6401-8172

海外拠点

MEC TAIWAN COMPANY LTD.
 No.3, Ziqiang 6th Rd., Zhongli Dist., Taoyuan City 320, Taiwan (R.O.C.)
 TEL. +886-3-434-3549 FAX. +886-3-434-5047

MEC EUROPE NV.
 Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium
 TEL. +32-9-216-7272 FAX. +32-9-216-7270

MEC (HONG KONG) LTD.
 No.8, 12/F., Tower 3 China Hong Kong City, 33 Canton Road, Tsimshatsui, Kowloon, Hong Kong
 TEL. +852-2690-2255 FAX. +852-2690-2262

MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD.
 530 An Ji East Road, Sanzao Town, Jinwan Qu, Zhuhai City, Guang Dong 519040, China
 TEL. +86-756-762-2328 FAX. +86-756-762-2628

MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD.
 31 Linjiang Road, Suzhou Industrial Park, Jiangsu 215121, China
 TEL. +86-512-6745-1990 FAX. +86-512-6745-1993

株主状況

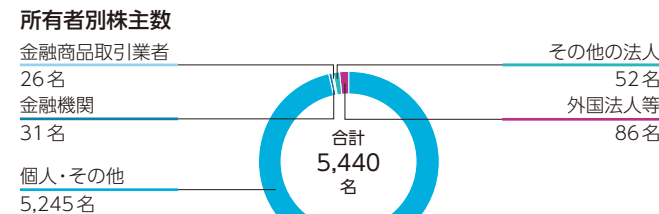
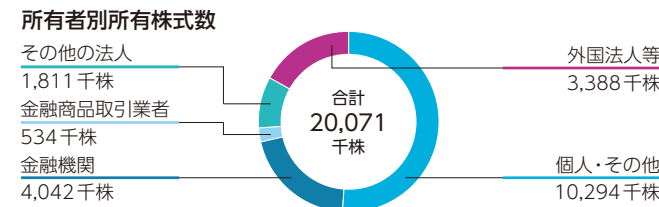
発行済株式総数 20,071,093株
 株主数 5,440名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,272	6.33
株式会社マエダホールディングス	1,199	5.97
前田 耕作	1,005	5.00
J. P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S. A. 380578	857	4.27
前田 和夫	720	3.58
野村信託銀行株式会社(投信口)	640	3.19
メック取引先持株会	492	2.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	445	2.21
メック従業員持株会	340	1.69
腰高 修	315	1.56

※ 当社は自己株式を700,089株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式分布状況



※ 「個人・その他」には自己名義株式(700,089株)を含んでおります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金
受領株主確定日 毎年9月30日

定時株主総会 毎年6月

単元株式数 100株

株主名簿管理人
および特別口座
の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

※電話照会先 TEL. 0120-782-031 (通話料無料)

インターネット
ホームページURL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 4971

公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL
<http://www.mec-co.com/ir/denshi/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者の皆さまにそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス(ニュースメール配信サービス)を行っています。

ご希望の株主さまには、こちらのサービスの送信先メールアドレス(携帯電話のメールアドレス不可)を、当社ホームページまたは、ディア・ネットサービスシステム(<http://www.dirnet.jp/>)から、簡単に登録いただけます(無料)。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまとのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めてまいりたいと考えております。

つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。

ホームページのご紹介

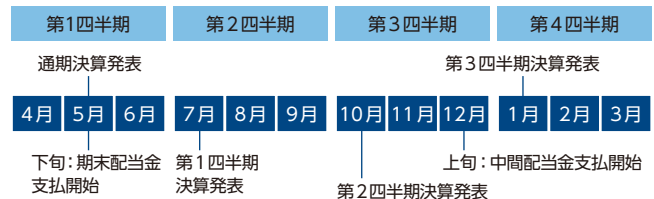


<http://www.mec-co.com/>

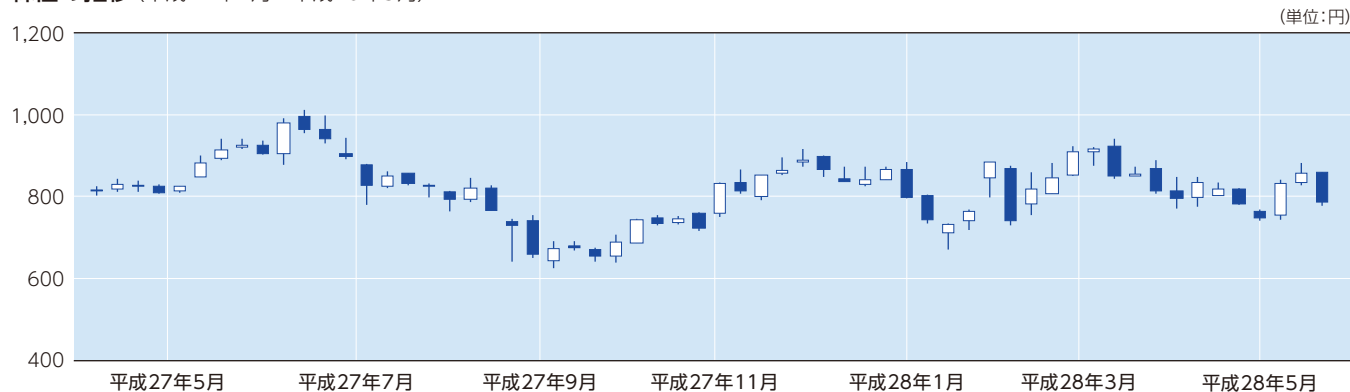
当社のホームページでは

- プレスリリース
 - 株主通信
 - コーポレート・ガバナンス報告書 他
- 各種情報を掲載しております。
ぜひご覧ください。

IRカレンダー



株価の推移 (平成27年4月～平成28年5月)



株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

1. 証券会社の口座をご利用の株主さまは、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
2. 証券会社の口座をご利用でない株主さまは、左記電話照会先*までご連絡ください。



メック株式会社

本社事務所/〒660-0881
兵庫県尼崎市昭和通三丁目95番地 アマックスビル
TEL. 06-6414-3451 (代) FAX. 06-6414-3455

URL <http://www.mec-co.com/>

